

指導教員名

山川拓也

活動区分

イベント企画型

イベント支援・運営型

連携先

企業

学校(教育機関)

～ 流通科学大学「国際交流バスツアー」企画・運営の受託 ～

活動の様子



取り組む課題

大学を顧客(発注者)と見立てた上で、ニーズ聞き取り⇒企画⇒見積⇒提案⇒運営⇒アフターケアという旅行ビジネスの流れを経験するとともに、実際の参加者(学生)と発注者の双方に満足してもらえるような旅行商品を考案する。



本学(学生)の役割

ツアーの企画立案・当日添乗、参加学生のフォローといった旅行業務の全般

企画・活動概要

本学留学生支援課が担当する国際交流バスツアーの企画・運営に係る業務の一部について、山川拓也ゼミナール(観光商品マーケティング)での実践的な学修プロジェクトとして請け負い、名鉄観光サービス(株)の協力を得ながら進める。

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

振り返りでは「旅行会社のリアルを疑似体験することができ、実社会や企業のマーケティング活動をイメージしやすくなった。授業等で企画を行うことはあったが、販売する時までを想像することは困難であった。実際の旅行会社との協働経験を通して、企画技術やノウハウに限らず、社会の中で協働して価値を創造することの苦労や喜びも学ぶことができた」といった総括的意見が出た。今回の取り組みを通して、主体性や責任感、最後まで諦めずに考え抜く力、チームで働く力といった一般的な社会人基礎力、ビジネスコミュニケーション上のマナー等を修養できたと考える。



経緯・背景・目的

山川ゼミでは、これまでも観光商品マーケティングについて深耕することを目的に、PBLをベースとする様々なタイプの旅行・観光商品の企画および開発に取り組んできた。しかし、これまでのプロジェクトの中心は「企画」であり、実際の「運営」には至っていなかった。マーケティングの学修としては一定の効果を認めるものであったが、マネジメントの学修という点からは不十分で何らかの方策を考える必要性を感じていた。また、日本人の海外旅行者を対象とした旅行の企画は行われていたが、これまで訪日外国人旅行者を対象とした旅行の企画は着手できておらず、PBL題材の拡充を考える必要があった。

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



人間社会学部
観光学科
准教授
山川拓也(ヤマカワタクヤ)

<専門・担当科目等>
観光経済学、
観光マクロマーケティング、
観光消費文化論

<関係者・企業等>

名鉄観光サービス株式会社
大阪教育旅行支店
次長
村井伸哉様(ムライシンヤ)